

第18回 珠算指導者養成講習会

後継者育成委員会

2025年9月20日（土）～21日（日）の2日間、エッサム神田ホール（東京都）にて珠算指導者養成講習会を開催いたしました。今年度も会場とオンラインの同時開催、会場7名オンライン12名合わせて19名の参加、10代2名、20代3名と若い方の参加が増えたことはうれしいことです。

◇ 1日目 9月20日（土）

11：30～11：45

【開講式】 司会進行 島田 宏美 委員

開会の言葉の後、委員・講師の紹介、会場受講者の自己紹介、オンライン受講者の自己紹介が行われた。

11：45～12：15

【日本珠算連盟の事業・活動】

熟田眞砂子 委員長

日本珠算連盟の現状、事業内容を説明した。

資料を基に、組織形態、単位連盟などの仕組み、会員の高齢化による現状の厳しさも説明した。

また、事業の説明をし、活動の理解をしていただき、参加した機会を生かし、是非仲間に入って活躍していただきたいと話をした。



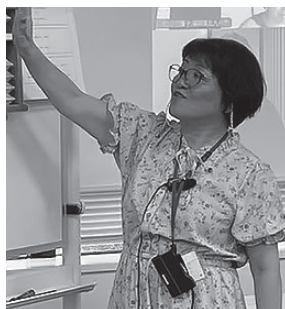
12：20～13：20

【加減算指導法】

島田 宏美 委員

今日は講習生ですが、指導を始めたら先生なので、自信を持って指導してほしいと伝えた。また、加減算は全ての計算の基本なのでしっかりと指導することが大事と話し、基本を身に付けたうえで教室での指導方法を決めて自信をもって進めてほしいと話した。

運指・運珠については基本的なものを大そろば



んで説明した。

間違えやすい問題の指導方法、教材会社の基礎問題集の説明などわかりやすく話した。

13：35～14：35

【乗算指導法】

杉田 芳樹 先生

今回も質問をLINEオープンチャットで受け付けるという今の時代に合った進め方で講習を開始した。

まずは乗算の指導にあたり、九九をしっかりと練習することの大切さを話した。

乗算にはいろいろな計算の方法があるが、暗算の導入のことも考慮し、両落としの計算方法を説明した。2桁×1桁～複数桁×複数桁の問題も非常に丁寧に解説し、最後には小数の計算の説明もした。

受講者のみなさんのなかには、初めての計算方法の方もおられ、必死に実践されていた。



14：35～15：35

【除算指導法】

杉田 芳樹 先生

乗算に引き続き、除算の講習。

乗算以上にしっかり九九ができないといけないということを説明した。

そのあとは2桁÷1桁から解説。答えの置き場所の徹底、あるときは一つあける、ないときはすぐまえに置く、という原則を伝えた。

除算はひき算が大事なのでひき算の練習もポイントと説明があった。

そして暗算力を伸ばすために、還元は指導しないとのこと、最初は何を置くのか考える時間がか

かってもいい。その後小数についても詳しく説明した。

暗算ができるようになるためにはどうするかを重点的に話した。

15：45～16：45

【暗算指導法】

黄 俊豪 委員

暗算はいつから指導するか？の問いかけから始まり、最初に暗算は難しいと思わせないこと。間違えてもよい。とにかく初日から導入するとのこと。いろいろなツールがあることも話され、“あんざん力開発システム”のイメージ暗算やフラッシュ暗算などをしっかり使ったうえで、暗算指導を行うことの大切さを伝えた。

教室で使っている教材なども案内し、受講生の皆さんと実践授業を体験し具体的な講習だった。



16：45～17：15

【競技大会や検定試験を活用した指導法】

黄 俊豪 委員

年間の予定についてボードに書きながら話し、地域によって違いもあるが、日本珠算連盟の検定、大会、その他の大会についても詳細に説明した。

目標を持つことにより、生徒・教室のモチベーションが上がり、日々の練習の励みになること、どんどんチャレンジしていくことがいいと話した。

17：15～17：45

【読上技術指導・読上算を活用した指導法】

黄 俊豪 委員

先日のでろばんグランプリジャパン2025で読み手をした話を交え、実際に読み上げを披露。読み手が注意している部分、ポイントを説明した。

さらに、腹式呼吸が必要、受講者の皆さんと実践した。

また、英語読上算などの導入の説明をし、披露した。

最後に、生徒とのコミュニケーションのために読み上げは大切と伝えた。

◇ 2 日目 9 月21日 (日)

9：45～11：00

【幼児・低学年指導】 熟田真砂子 委員長

自身の教室でしている内容をもとに講習した。

幼児の入塾が増えていくが個人差は大きいので、マンツーマンでの指導、保護者同伴も可ということもいいとのこと。

テキストだけでなく、100玉そろばんの使い方、言葉がけの仕方など幼児に合わせた方法を具体的に話し、有効に活用することが大事だと話した。



11：00～12：30

【開塾に向けて（インタビュー）】

原 美麗 委員



まずは体を動かして！ということで、全員で体操、リフレッシュしてからスタート。

自身も指導者養成講習会出身ということで、現在に至るまでの経験を話した。

立地条件（近隣の小学校の人数を確認！）、最初の月謝の設定方法（高くする！）、資金繰りの方法（資金が足りない場合は徐々に設備を充実していく）など具体的にわかりやすく受講生に伝えた。

30分間の原委員の講義のあと、指導者養成講習会の卒業生である高月先生・吉藤先生のインタビュータイム。それぞれの現在に至るまでのお話をしていただく。

その後、受講生からの質問にお答えいただきました。生声を聞けるとあって質問も多く時間が足りないほどでした。

13：20～15：05

【誤算原因の発見法】 太田陽一郎 委員

生徒がなぜ間違えたのか、予想のつかないところでもない間違いをすることもある。だがそうは言ってもパターン化できるものもある、ということをもまず話した。

加減算の誤算原因について、桁違い・飛ばしなどいろいろな事例を説明した。受講生に例題で間違い発見の実践をしていただき、その後大それたを使いながら丁寧に解説した。

乗算・除算に関しても、九九の誤り・位置の誤りなどいろいろな事例を交えながら解説した。

受講生からの質問にも積極的に答えながら進めていった。難しい部分だが、先生自身のためにもなる講習であると思う。



15：15～16：00

【指導者とは】

渡邊 伸清 先生

講習会の締めめに、教育研究部会部長の渡邊先生による指導者としての姿勢についての講習があった。

まず、指導方針をしっかり定めること、理念の話、指導者は人格形成にもかなり関わっていることを話した。次にコーチングの話をし、個の自主性を見つけ育てる指導をできるかが大事だということを詳細にわかりやすく話した。

受講者はもちろん、私たち委員も、この講義は再度、指導者としての自分を見直すことができる良い機会となっている。



16：00～16：45

【事前アンケートに関する回答と意見交換会】

事前にいただいたアンケートや、講習に関する質問に答えた。

直接質問ができる機会なので、時間が足りなくらいであった。

最後に、教師認定に関する条件について説明があった。



16：45～17：00 **【修了式】**

熱田委員長より、受講者を代表して遠方より参加の齋藤友香さんに、修了証書が授与されました。

2日間の日程を終え、得たことを今後に生かしていただけたらと願います。



（受講者の感想）

- 日本珠算連盟を知れたこと、今でも習い事ランキングでは、上位にいる。珠算業界の現状がよく理解でき、大変参考になった。
- 暗算を見越した今の指導法に驚いた。新しいことを学べたことはよかった。
- 指導者養成講習会の卒業生から生の声を伺えてよかった。現実的なお話も聞いて参考になった。
- 誤算原因の発見法は、難しかったが、参考になった。
- オンラインで参加ができ、受講の機会をもらえてよかった。

最後に、

日本珠算連盟として養成講習会は指導する仲間を増やす手段の一つだと思います。熱意のある受講生皆さんの姿は、講師陣として本当に心強く、夢ある未来を感じることができました。

単位連盟の皆さまの協力が必要です。問い合わせがあった場合は快く受け入れていただきたいと思います。珠算界の未来を明るくしましょう。

（文責：後継者育成委員 島田宏美）